

ジュスタン・テイラー

チェンバロ・リサイタル

フランスの華 音の絵画

Early Music Series
音楽の愉しみ

PROGRAMME

フランソワ・クープラン François Couperin (1668-1733)

- 暗闇 La Ténébreuse
- 青春 L'adolescente
- 神秘の防壁 Les Barricades mystérieuses
- 牧歌 Les Bergeries
- スペイン風 L'espagnolète
- 威厳、またはフォルクレ La Superbe ou la Forqueray
- 小さな風車 Les Petits Moulins à vents

アントワーン・フォルクレ Antoine Forqueray (1672-1745)

- 3つのヴィオール組曲 (J.テイラー編)
- Suite pour trois violes, transcrite pour clavecin par J. Taylor

ジャック・デュフリ Jacques Duphy (1715-1789)

- フォルクレ La Forqueray

ジャン＝バティスト・フォルクレ Jean-Baptiste Forqueray (1699-1782)

- ラモー La Rameau
- シルヴァ La Sylva
- ジュピター Jupiter

ジャン＝フィリップ・ラモー Jean-Philippe Rameau (1683-1764)

- めんどり La Poule
- 3連音 Les Triolets
- エジプトの女 L'Égyptienne
- 未開人 Les Sauvages
- 鳥たちのさえずり Le Rappel des Oiseaux

クロード＝フランソワ・ラモー Claude-François Rameau (1727-1788)

- フォルクレ La Forcray

ジャン＝フィリップ・ラモー Jean-Philippe Rameau (1683-1764)

- アルマンド [クラヴサン曲集 第1巻より]
- Allemande (Premier Livre de Pièces de Clavecin)
- クーラント [クラヴサン曲集 第1巻より]
- Courante (Premier Livre de Pièces de Clavecin)
- ガヴォットと6つのドゥーブル [新クラヴサン組曲集より]
- Gavotte & Doubles (Nouvelles Suites de Pièces de Clavecin)

©Jean-Baptiste Millot

フレンチモデル(18世紀モデル)
1992年 / Ryo Yoshida 製作

2023. 1/8 (日) 2:00PM開演 (1:30PM開場) A ¥4,000 B ¥3,000 (税込 / 全席指定)

兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール 〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22阪急西宮北口駅南改札口スグ / JR西宮駅より徒歩15分 (阪急バス7分)

発売日

芸術文化センターチケットオフィス

☎ 0798-68-0255

10:00AM-5:00PM
月曜休み ※祝日の場合翌日

※窓口での販売(残席がある場合)は10/16(日)より

10/15(土)

インターネット予約

<https://www.gcenter-hyogo.jp>

主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

※未就学児はご入場いただけません。 ※やむを得ない事情により、曲目等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。



兵庫県立
芸術文化センター



古楽界の俊英が魅了する、 優美なフランス音楽

いま最も熱い注目を集めるチェンバリストのジュスタン・テイラー。前回の公演では知性溢れるJ.S.バッハの大曲「ゴルトベルク変奏曲」を聴かせてくれました。

今回は18世紀に花開いた優美なフランスの作品をおとけします。

フランスを代表する作曲家ラモー、クーブラン、フォルクレ、デュフリ。その音楽は美しい額縁をもつ絵画のようだと言われています。ジュスタン・テイラーの表情豊かな演奏で聴くフランスの美。ぜひご期待ください。



2021年 神戸女学院小ホール公演より

JUSTIN TAYLOR CEMBALO RECITAL

ジュスタン・テイラー(チェンバロ)

JUSTIN TAYLOR (CEMBALO)

ジュスタン・テイラーは2015年に、23歳の若さで、ブルージュ国際古楽コンクール・チェンバロ部門で優勝および聴衆賞ほか2つの特別賞を受賞した。

テイラーは11歳から故郷のアンジェでピアノとチェンバロを学び、その後、パリでチェンバロをオリヴィエ・ボーモン、ブランディーヌ・ラヌーに師事。またピアノをロジェ・ムラロに学んだ。

これまでに、パリのフィルハーモニー、シャンゼリゼ劇場、ルーヴル美術館、ロンドン、ブリュッセル、アントワープ、ロック・ダンテロン音楽祭、ナントのラ・フォルジュルネ音楽祭、日本の王子ホール、ニューヨーク、ワシントンなどで演奏しているほか、イール・ド・フランス国立管弦楽団、ワロニー室内管弦楽団、ジュネーヴ室内管弦楽団、マンハイム・フィルハーモニー管弦楽団、デュースブルク・フィルハーモニー管弦楽団、コンチェルト・ケルンなどと共演している。

アルファ・レーベルと専属契約を締結し、10枚以上の録音をリリースしており、最新盤の「ラモーの一族〜ラモー家と18世紀フランスの鍵盤音楽」はショック賞ほか多数の賞を受賞している。また、2018年にはドイツ・グラモフォンの「バッハ333」シリーズで2枚組のCDをリリースしている。

室内アンサンブル「ル・コンサート」の一員としても活躍を続けており、2017年にロワール国際古楽コンクールで優勝したほか、メゾ・ソプラノのエヴァ・ザインクと共にアルファ・レーベルからリリースしたデビューCDはさまざまな賞を受賞。ダンドリューのトリオ・ソナタを集めた録音「Opus1」は2019年のディアパソン・ドール賞を受賞している。ル・コンサートはパリのサンジェ＝ポリニャック財団、バンク・ドゥ・フランス、ロワイヨン財団のレジデンシーを務めている。

©Julien Benhamou 2021

《チケットご購入のお客様へお願い》新型コロナウイルス感染予防対策にご協力をお願いします

※芸術文化センターでのご購入時には、来場者情報把握のため、先行予約会員(無料)へのご登録をお願いしております。

なお、お一人様2枚までとさせていただきます。

※37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。

※マスクを着用されない方はご入場いただけません。(マウスシールド不可)

※感染の再拡大等により、公演の中止や、公演内容、座席配置等が変更となる場合がございます。

ご来場前にウェブサイト掲載の(当センターをご利用のお客様へ)をご確認ください



アクセス

